(様式第3号)

企業・団体名(株式会社エージェンシー広宣)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

_							主な	SDGs	(17ゴー	ルと	169タ	ーゲッ	ト)関連項	目		
カテゴ	エー… 5 西口	取組	【非該当】	【予定】の		1 2 3	4	5	6 7	8	9 1	0 11	12 13 1	4 15	16	17
ゴリ	チェック項目	レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	100 a man. h444	Mill (EDT)	©	♥ *	8 20 E 1	eser es	11 to 00 to 14 to 15 to	© © © M	<u>*</u>	16 COST	T SANCE (SE)
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用・教育・昇進・登用など、性別年齢を問わず差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		.2			16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			・ハラスメント行為の禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメントに関する相談窓口を設置している			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・「働き方改革」を受けて、働きやすい環境で、生産性の高い 会社に変えていこうという取り組みを経営者を含めて全社員 が共有し取り組んでいる。					8.5 8.8						
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		現在、外国人労働者は在籍しておりません		4.4			8.7 8.8		.2 .3				
⁵ 人 権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・社員の安全衛生の確保、改善を図り、快適な職場形成の ための必要な措置を講ずることの、周知徹底を実施している	3				8						
· 労 6 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・毎週連絡会議を開催し、社員の状況把握に努めている・健康宣言し、健康保険組合の認定を受けている・東京連合会「銀の認定」を受けている・【予定】ストレスチェックを2025年に導入予定	3										
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			・定年以降の再雇用を実施し、今後とも適材適所での登用 を推進する ・社員の子育て応援宣言に登録を行った			5.1 5.5		8.5	10	.2				
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			- 業務に必要な資格取得に係る経費を負担している ・積極的に外部機関が実施する役割に応じた研修体系を整備している。		4	5.5		8	9					
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業 員(正社員・パート社員)の公正な待遇を行っている			5.5		8.5		.2				
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・健康宣言し、健康保険組合の認定を受けている ・東京連合会「銀の認定」を受けている ・人間ドック等の健康診断等に係る経費補助を行っている ・【予定】健康経営優良法人(経済産業省)申請中	3				8						
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・管理責任者を設定し、分別を社内で徹底し、量を把握し削減に努めている。 ・専門業者で適切な処理を実施している							11.6	3 12.4 14	l.1		
12 環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気、ガス、灯油の利用量を月別に把握している。 建物内の温度を適正に管理している				7.3				13			
境 13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・自社の温室効果ガスの排出量を把握している ・クールビズ、屋休みの消灯を実施している				7.2 7.3				12.4 13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			・法令で規制されている有害化学物質を把握し、自社活動 により発生する有害化学物質削減のための計画を策定して いる	3.9			6.3			11.6	3 12.4			

カ テ ゴ					「まき」の 目分がた防御			主なSDG	s (1	7ゴール・	<u>- 169</u>	ターケ	゛ット)	関連	項目			
-	テ	チェック項目	取組	【非 該当 】 の場合	【予定】の		1 :	2	3 4 5								15 16	i 17
	ゴリ	アエック項目	レベル	選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	104 5/66/8	::		8 MM **	* M	s motor	10:000**	± ∞	8377.	M total	15 xx 18 72.7 ***	U seaso
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材、製品、サービスの使用・提供を通じて生物多様性保全に配慮している				6.6							15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている ・裏紙利用やペーパーレス化を促進している ・循環経済の推進に向けた方針等を社内で共有している								12.	5	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			·水の使用量を月別に把握し、不要の使用削減を推進している。				6.4 6.6								
18 £		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレン ジ		【予定】	・環境マネジメントについて規格に基づいた事業活動を行えるように社内で検討する			3.9	6	7			12	13.3	3 14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ		【予定】	・環境に対する取り組みについて社内で検討する								12.	6			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	・太陽光発電等利用可能なエネルギーを検討していく					7.2				13			
21		【天然資源の持続的利用】・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ		【予定】	・認証商品の使用を推奨している。								12.	2 13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている											16	
23		【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不公正競争行為の禁止を含む行動規範を整備及び社内 研修を行っている											16	j
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・知的財産を含む業務上の秘密や会社の不利益な事項を 外部に漏らさないように取組んでいる					8.2 8.3	9						
五 25 大 事	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報保護に対する基本方針を定めて公表するとともに、管理者を定め、適切に管理している・社員に対し研修会を行い、情報管理ルールの周知徹底を図っている											16	;
26 性	農賃行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ			・法令等で規制されている紛争鉱物を把握し、取引先の使用確認に対応する過程で取り扱っていないことを確認している											16	i
27	- 1	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ			・ビジネスパートナーと一体となり、仕事上での社会的責任に ついて話し合い、行動を共にしている			5		8		10	12	13	14	15 16	3 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・パートナーシップ構築宣言について社内で検討する			3		8	9	10					17

								主な	DGs (17ゴール	169ع	ター	デット	•)関	連項	B		
	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	『予定』の	具体的な取組	1	2	3 4									5 16	17
	アエック項目	レベル	選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	1.04 3 199,8	(= !!	3 since 4 recom	.	**************************************	S HARRY	10:000**	ALL C	8		15 % 17	18 70.00 2	******
	【製品・サービスの安全性】				・職場改善活動を通じて全社で安全性の確保に取組んでい													
29	・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗出しと対策を 実施している			3.9					1	12.4				
製品	【品質保証】	** *			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している													
30 +	・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを 策定している						9							
リ ビ 31 ス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ			・再生用紙利用を推進している ・グリーン製品を購入している				e					12	13	14 15	5	
	- 環境に癿慮した表面の開元 - 改計に取り値/0 でいる				// AKHI CAP/NOCV D												+	
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ			・少子化による労働人口減少への対策として、AIを導入し生産性の向上に取組んでいる	1	2	3 4	5 6	7 8	9	10	11	12	13	14 15	5 16	17
33	【地域への配慮】	基本			・地域の広告宣伝等に迅速に対応することをモットーに営業している			4			9		11	12		14 15	5	17
社	・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				・地場産業の取組に積極的に参加し、地域との関わりを常に 持ちながら事業を展開している													
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレン ジ			・定期的に事業所近隣のゴミ拾いを実施している ・地域の活動に対して寄付を実施したり、清掃活動や防災活			4					11			14 15	5	17
34 域貢献.	司 17、 「「フン) イ) なと 江 五 泉 間 (石 幼) 「 「				動への参画など、積極的に地域貢献活動を行っている													
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレン ジ			・贈答品等は地元企業の生産品を利用している					8	9		11	12	13			
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・経営理念を明文化し、朝礼で唱和している ・経営者は、適時、経営目標を従業員に説明し共有、浸透 を図っている					8	9							17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			・法令遵守の方針、手順などの体制が整備されている ・社内チャット、掲示等で、従業員に対し周知・啓発を行って いる												16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本			・SDGsに関する責任者(担当者)等を配置している												16	
39 組	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ	基本			・それぞれの立場から当社に期待することを把握し、適宜対応している ・会社HPに『お問い合わせフォーム』を設置し、お客様の意												16	17
織体	す影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)				見ご要望をお聞きできる仕組みとしている												+	_
40 制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレン ジ		【予定】	・定期的に会議を行い体制の成果、懸念、問題点を評価、 考察し継続的に改善を行う												16	
41	【社会的責仕】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる	チャレン ジ			・積極的な地域活動への参加。環境に優しい製品の提供、 安全な労働環境のサービスに心掛けている												16	
42	【事業継続】事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ		【予定】	・安全管理計画書において年間スケジュールを作成、実施していく						9		11		13 13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ		【予定】	・事業が承継されていくために、積極的に社内外の教育訓練や研修への参加を行っていく予定	į				8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7 8	9	10	11	12 1	13 14	1 15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 〇 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定